



～栗田から心・かかわり・絆をつなぐ“ライン”を目指して～

秋田県立栗田支援学校

地域支援通信

令和5年度 第1号

令和5年4月27日発行

今年度もK-ラインでは、栗田支援学校から特別支援教育についての情報を発信していきます。また、先生方からお気軽にご相談いただけるように努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



はじめに



校長 佐々木 孝紀

新しい年度がスタートし、早咲きの桜のもと、子供たちの生活にリズムが出てきた頃と思います。新型コロナウイルスの感染拡大は完全な収束とまではいかないものの、感染対策を講じながら、日常の学校生活が戻りつつあります。この3年間、様々な制限があったものの、学びを実現するための工夫や新たな取組を経験したことにより、今後の教育活動に生かしていけることも増えたのではと感じています。

特別支援教育については、様々な場面で話題になることが多くなりました。県の「学校教育の指針」にも、全教育活動を通して取り組む教育課題として示されており、すべての教員が特別支援教育に関する一定の知識・技能を有することが求められています。

昨今、子供を取り巻く社会の様子も凄まじいスピードで変化をしています。特に障害のある子どもの教育については、一人一人実態や特性、周囲の環境等が多様化しており、日常的な支援も難しいものになっていると感じます。

本校は、令和5年度から5年間の第四次秋田県特別支援教育総合整備計画のもと、今年度も地域の特別支援教育を推進するために、センター的機能として各学校(園)等への支援を行っていきます。困難を抱えている子供たちが安心して学校生活を送るためのサポートをしていきます。

どうぞお気軽に本校にご相談ください。

教育専門監の紹介～活用しませんか？～



教諭(兼)教育専門監：菅原 文彦
・ 幼稚園・保育所等学校訪問
(教育相談、ケース会議など)
・ 高校特別支援チーム
・ 障害理解研修会等

今年度の地域支援担当の紹介

～よろしくお願いいたします！～



照井 真紀子
地域支援部主任



藤原 真美
地域支援部副主任

★お気軽にご相談ください。窓口は相場力教頭になっております★



小嶋美智子



高久 貴子



新目 敏子



佐藤 美鈴



二階堂 悟



佐藤あゆみ

個別の教育支援計画について

今年度から「個別の教育支援計画」という名称に変わりました。

「個別の教育支援計画」についてお伝えします。すでに作成している場合も参考にいただければと思います。また、園や学校等を訪問して作成や活用のお手伝いもできますので、どうぞお気軽にご相談ください。

作成のメリット

- ・障害のある子どもの教育的ニーズの把握
- ・支援内容の明確化
- ・関係者間の共通理解
- ・関係機関の連携の強化
- ・継続的な支援



対象となるのは？

- ・特別支援学級に在籍する児童生徒
 - ・通級指導教室を利用する児童生徒
 - ・通常の学級に在籍し、学習・生活上特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒
- ※幼稚園、保育所、認定こども園等においては障害のある幼児

作成の手順 栗田支援学校 Ver.

- 〈計画〉・年度初めに保護者面談を実施（保護者の希望や願い、関係機関等が行う支援内容や担当者、保護者と合意形成した合理的配慮等を記載）
 - ・作成した「個別の教育支援計画」の関係機関への開示について保護者の同意を得る。
- 〈実施〉・個別の指導計画に基づいた支援 ・各関係機関との連携（通院同行、リハビリ参観等）
- 〈振り返り〉・年度末の保護者面談での振り返り・次年度に向けて支援目標や内容を見直し、関係機関を確認

就学先、進学先、転学先、就職先への引継ぎの際に活用

早い段階で進路指導の充実を図ることも大切。卒業後に障害福祉サービス利用等も想定される場合、市町村障害福祉担当課との連携を進めることも必要。

下記は栗田支援学校の例です。「令和5年度秋田市の特別支援教育(第45集) 秋田市教育委員会」にも例が載っておりますので、参考にしてください。

現在及び将来の生活についての希望					
本人	・仕事をする。	・大きな声で話せるようにしたい。			
保護者	・みんなと一緒に勉強したい。	・割り算ができるようになりたい。			
	・最後まで落ち着いて授業に参加してほしい。				
	・思っていることを伝えられるようになってほしい。				
	・スツクのみも結びができるようになってほしい。				
必要と思われる支援内容【合理的配慮含】					
	・学校生活において、個別ではなく全体への指示を聞き、自ら行動できるようにするための支援				
	・自分の気持ちを伝える言葉を増やし、身近な人と心地よく関わるための支援				
	・自分の健康や体調管理について意識し考えることができるようになるための支援				
	・見通しをもって活動に取り組むための支援				
具	体的	支	援	備	考
家庭・寄宿舎	担当者：保護者（父、母、祖母）	TEL 080-xxxx-xxxx			
	内 容：生活全般における支援や生活経験の拡大				
施設	担当者：児童デイサービス〇〇〇	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：月、火に利用				
	担当者：児童デイサービス△△	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：水、木、金、土に利用				
余暇・地域生活	担当者：水泳教室（週1回）				
	内 容：演示を多くして、部分ごとの動きを詳しく解説する。				
	担当者：指定相談支援事業所☆☆	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：サービス等利用計画作成並びにモニタリング				
福祉・労働行政	コーディネーター 新屋 花子さん				
	担当者：秋田市障がい福祉課	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：療育手帳更新時の受付、相談、発行				
	（障害支援区分の認定）				
	担当者：〇〇小児科医院 〇〇Dr.	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：体調管理と治療、予防接種等				
	担当者：市立病院小児科 △△Dr.	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：体調管理と治療（※主に緊急時利用）				
医療	担当者：県立医療療育センター 〇〇Dr.	TEL 018-xxx-xxxx			
	内 容：診療（半年に1回）、OT、PT（月1回）				

◇必要な支援（合理的配慮を含む）の例

- ・周囲を見て自分で次の行動を考えるための時間の設定や活動内容の視覚的な支援
- ・人との適切な関わり方や状況に応じた言動に気付く支援(ソーシャルスキルトレーニング等)
- ・健康な体づくりに向けた食事指導、運動量の調整、姿勢保持に向けた体幹トレーニングの設定
- ・自分のやるべきことが分かり、役割を果たすための場の設定（係活動等）
- ・困ったときや、疑問に感じたときは相手に伝える場面設定や事前の練習
- ・手順表などを活用し、一人でできることを習慣化させるための支援
- ・身振りやカードで自分の意思を伝えながら周囲の人と関わるための支援
- ・身だしなみを整えたり、確認したりする機会の設定

相談・見学の希望がありましたら、ご連絡ください

秋田県立栗田支援学校

教頭：相場力 教育専門監：菅原文彦 地域支援部：照井真紀子

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL：018-828-1162 FAX：018-828-4720

ホームページ <http://www.kurita-sakita-pref.ed.jp/>

メールアドレス kurita-s@akita-pref.ed.jp ※相談窓口は教頭まで

